

～毎月 10 日は人権を考える日～

令和 6 年度 人権問題に関する市民意識調査報告から（その 2）

人権擁護課、西条市人権教育協議会では、令和 6 年 5 月 21 日～6 月 10 日に「令和 6 年度 人権問題に関する市民意識調査」を実施しました。これは、人権施策推進にあたり、5 年に 1 度実施し、人権問題に関する市民の意識を把握し、今後の施策の基礎資料とするものです。

（詳細について）

西条市ホームページ（人権擁護課）をご覧ください。下記の URL からお入りください。

<https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/jinken-yogo/ishikichosar6.html>

（問 14）部落問題（同和問題）について
初めて知ったきっかけは何ですか。

ア 家族	185人	24%
イ 近所の人	57人	7%
ウ 小学校の授業	289人	38%
エ 中学校の授業	58人	8%
オ 高校の授業	10人	1%
カ 大学の授業	3人	0%
キ 学校の友達	14人	2%
ク 職場の研修	17人	2%
ケ 同和教育の集会や研修会	37人	5%
コ テレビや新聞などのマスコミ情報	19人	3%
サ インターネット・SNS	1人	0%
シ 部落問題にかかわる出来事があった	5人	1%
ス 覚えていない	31人	4%
セ 部落問題を知らない	16人	2%
その他	10人	1%
未回答	8人	1%

	18～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代～
家族	5.7%	7.6%	12.6%	8.0%	31.8%	41.1%
近所の人	0%	0%	0%	2.7%	6.0%	17.4%
小学校の授業	54.7%	65.8%	72.8%	69.9%	25.8%	5.4%
中学校の授業	15.1%	6.3%	7.8%	9.7%	8.6%	5.0%
高校の授業	1.9%	1.3%	0.0%	0.0%	2.6%	1.6%
大学の授業	1.9%	0%	0%	0%	0.7%	0.4%
学校の友達	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	3.3%	3.1%
職場の研修	3.8%	0%	2.9%	0.9%	1.3%	3.5%
同和教育の集会や研修会	1.9%	1.3%	1.0%	3.5%	7.9%	7.0%
テレビや新聞などのマスコミ情報	0%	5.1%	0%	0%	1.3%	5.0%
インターネット・SNS	0%	1.3%	0%	0%	0%	0%
部落問題にかかわる出来事があった	0%	0%	0%	0.0%	0.7%	1.6%
覚えていない	11.3%	5.1%	1.0%	2.7%	4.6%	3.9%
部落問題を知らない	3.8%	2.5%	0%	1.8%	2.0%	2.3%

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課

部落問題（同和問題）について

初めて知ったきっかけ

「小学校、中学校、高等学校の授業」で知ったと回答した人が 5 割近い割合となっています。さらに、「家族」「近所の人」と回答した人は 3 割となっています。

また、年代別にみると、50 歳代以下は、「学校教育」において初めて知ったと回答した人が多く、7 割～8 割となっています。

愛媛県で、人権・同和教育が学校教育の中で行われるようになったのは、昭和 40 年頃からです。

昭和 27 年広島県の中学校で、教師による差別事件が起きたことを契機に、当時の文部省は学校教育及び社会教育を通じての同和教育の徹底を指示する次官通達「同和教育について」を出しました。

また、昭和 40 年に「同和対策審議会答申」が出され、同和教育への関心が高まりました。

さらに、昭和 47 年、義務教育史上はじめて、ある教科書会社の中学校社会科教科書に同和問題に関する記述がなされ、同和問題学習の重要性と不可欠性が認識されはじめました。（本県で使用している社会科教科書に同和問題に関する記述が掲載されたのは、小学校は昭和 49 年、中学校は昭和 50 年のことでした。）

学校教育における人権・同和教育は、部落問題の科学的認識（偏見ではなく、科学的に正しく理解すること）のもとに「正しい」人権意識を育てることにあります。また、現在行われている社会教育における人権・同和教育の学習会、研修会等は、正しい人権についての学習を通して、私たちの誤った認識を正していくものです。